



うな障壁が常に存在してきたこと、そして今日のいわゆる 明の 代においても存在し けているということは、否定出来ない事 です。イスラ ムはこれら全ての障害を取り除き、ヒュ マニティ全体の理想が神による一つの家族であることを高らかに うのです。

イスラ ムはその展望とアプロ チにおいて国 的であり、 言者ムハンマド到来以前の状 のように、肌の色や血 、地域などによる障壁や区 を めていません。不 なことに、これらの偏 はこの 代においても 々な形で横行しています。イスラ ムは全人 を、一つの旗の下 に させることを望みます。イスラ ムは、国家的反目と不和で疲弊した世界に、人生と希望、そして 光に溢れた未来のメッセ ジを提供するのです。

史家のA.J.トインビ はこの点において、いくつかの 味深い をしています。その著「Civili zation on

Trial ( につけられた文明)」の中で、彼はこう しています：「こういったプロレタリ ア国 主 (西洋化人 )における二 の 立つ危 性とは精神的、そして物理的なものであり、なかでも我々の近代西洋社会において 立つ要素は民族意 、そしてアルコ ルなのである 。そしてもし容 されるのであれば、これらの 要素との において、イスラ ム的精神はど ちらがより高度な 理的 社会的 を持つかを 明する役割を有しているのだ。」

ムスリムの の人 意 の は、イスラ ムによる 著な 理的 の一つです。そして 代世界には、に 生しているように、このイスラ ム的美 を宣 する切迫した必要があるのです…イスラ ムの精神は

容さと平和によってこの を 定するであろう、 宜に った援 であると考えられます。

アルコ ルの害 はと言えば、それは西洋企 によって「拓」された 地域における原始的集 の において最 のものです。外的 威から いられた最も政治的じみた予防策でさえ、解放 への欲望と、その欲望を自 的行 へと移す意思が人々の心の中に 醒されない限り、コミ ュニティを社会的 から解放出来ないというのが わらない事 なのです。 にも角にも「アングロサクソン」に由来する欧米の行政官たちは今、人 意 が している身体的「差 障壁」によって、彼らの先住地区から精神的に孤立してしまっています。先住民の魂を改 宗させたところで、彼らの能力 などはほとんど期待できません。そしてイスラ ムが何

らかの役割を果たすことが出来るかもしれないのは、この点においてなのです。

最近の急激な 地域の の中で、西欧文明は 的 政治的充溢と同 に、社会的 精神的空虚をも得しました。

ここで私たちは近い将来において、イスラ ムが西欧社会のプロレタリア国 主 に及ぼすことが出来るかもしれない2つの 重な影 を めることが出来ます。西欧社会はその情 を世界中に 信し、全人 を包含しています。そして い将来において私たちは、いくつかの新しい宗教的兆候におけるイスラ ムの 献の可能性を予想出来るかも知れません。」

## 恒久性と 容

恒久性と 容という要素は、人 社会と文化の中に共存し、そしてそのように留まること が定められています。 々なイデオロギ と文化システムが、この均衡の一片のみに 度に 依 したために、 を犯してきました。恒久性に する 度の はシステムを硬直させ、そこから柔 性と を いましたし、恒久的 と普遍の 要素の欠如は道 的相 主 や 形性、アナ キズムを もたらしました。

しかし必要とされているのは、これら2つのバランスです。つまり、恒久性と 容のいずれの要求にも じることの出来るシステムなのです。アメリカの裁判官ジャスティス カルドソは、このような的を得た 言をしています：「私たちの 代における最大のニ ズは、安定性と の主 の 突に介在し、成 の原 を供 する哲学です。」そしてイスラ ムは 容と共に、安定性の要求をも たすことの出来るイデオロギ を提示しているのです。

よく熟 してみれば、人生は恒久性と 容という要素の中にあることが分かります。それは、些 な物事においてでさえも 化を受け入れることの出来ないほど柔 性に乏しい硬直したものでなければ、またその 立った特性すらも、恒久的な独自の特 を有してはいないほどに柔 で流 的なものでもありません。このことは、人体の生理的 化の 程を 察してみれば明らかです。一生を通じて人体の全 は何度も 化しますが、それにも拘らずその人物は同一のままなのです。木の 、花、果 も 化しますが、その 性は不 のままです。

恒久性と 容が 和の取れた均衡をもって共存するのは、生命の法 なのです。

そしてこれらいずれの要素に しても人生のシステムを提供できるものだけが、人 的性の欲求と、人 社会のニ ズの全てを たすことが出来るのです。人生の基本的 はあらゆる代と 所において不 ですが、それらを解 する手段や方法と、生じている 象を取り う技 は、代の と共に 化します。イスラ ムはこの に新たな 点を当て、 的な方法でそれを解 しよう と みるのです。

クルア ンとスンナ（ 言者の言行 ）は、全宇宙の主によって授けられた永 の きを内包しています。この きは、 空の制 を超越した神を起源とするものであり、神によって 示された 人 社会的行 の原 は にしていると共に、永 なのです。しかし神は なる原 を明らかにしただけで、人 がそれをその 代の精神や状 に した方法でもって各 代において 用していく自由を与えました。各 代の人々が神的 きをその折々の に して 践し、 用していくことを みるのは、イジュティハ ド（真 に到 するための知的努力）を通してなのです。このように、イスラ ムの基本的指 は恒久的性 を有していますが、その 用法はその 代特有のニ ズに じて 化可能なのです。イスラ ムが明日の朝のように常に新 でモダンなのは、こう いう理由からなのです。

## 教 の完全な が保存されていること

最 に、そしてこれは非常に重要なのですが、 には、イスラ ムの教えは元来そのまま保存されているという事 があります。 局のところ神の きは、いかなる の付加も必要とすることなく 能するのです。クルア ンは1400年前から存在する 典であると共に神の御言 でもあります。いまだに元来の形のまま利用可能です。 言者ムハンマドの一生と彼の教えの なるもまた、原初の 度のまま利用可能なのです。このユニ クな 史的 において、今までただ1つの 更も生じてはいません。 言者の言 と彼の全生涯の は、ハディ ス（ 言者の言行 ）と 言者 という形において、前例のない精度と信 性をもって私たちの手元にまで届いています。そして数多くの非ムスリムの批 家たちでさえ、この 得力のある事 を め ているのです。

イスラームにおけるこれらのいくつかのユニークな特長は、人の宗教と今日の宗教、そして明日の宗教としての信託を立しています。これらの面は過去と現在における数百万人もの人々に届け、イスラームが真の宗教であり、人のための正しい道であることを信させるのです。これらの面が、将来的にもより多くの人々にアピールし続けることには、疑いの余地もありません。真実な心と真実を切望する人は、いつもこう言いけるのです：

「私は、神以外のいかなるものも崇拝せず、神が唯一であり、他のいかなるものともその威を共有しないことを言します。また、ムハンマドが神のしもべであり、使徒であることを言します。」

ここで、以下にあげるジョージバナドシヨが言った言をもつて、この事をめぐりたいと思います：

「私はムハンマドの宗教にし、その素晴らしいエネルギーにして常に高いを与えて来た。それはあらゆる代にアピールすることが出来る、存在の化する局面に可能な容力をえていると思われる、唯一の宗教である。私はこの素晴らしい人（ムハンマドのこと）について研究したが、私に言わせれば、彼はキリストなどとはかけ離れた、人の救世主とも呼ばれるべき素晴らしい人物なのだ。私は、もし彼のような男性が代世界のを担うならば、待望されている平和と幸福をもたらしつつ、を解することに成功するだろうと思っている。私はムハンマドの信仰が、今日のヨーロッパにとって容可能なものになり始めているように、明日のヨーロッパにとっても容可能なものであると予している。」

この事のウェブアドレス：

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/646>

著作 2006-2015 断を禁じます。 2006-2023 IslamReligion.com. 断を禁じます。